

構成	1年	椎木	2年	内田	3年	吉竹	4年	宮田
	5年	松永	6年	山田				
本年度の重点目標・努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各領域の言語活動や日常的な音読・暗唱活動などを通して、国語で伝え合おうとする意欲を高めるとともに、国語に対する関心を深め、国語を尊重しようとする態度を育てる。(関心・意欲・態度)</li> <li>○ 児童の言語生活に基づいて話題を工夫し、計画的・具体的な指導を通して、相手や目的、意図に応じ、自分の考えを明確にして話したり聞いたり話し合ったりする能力を育てる。(話す・聞く能力)</li> <li>○ 題材を工夫するとともに、文種の特質に応じた指導を行うことを通して、相手や目的、意図に応じて、自分の考えを明確にして筋道を立てて文章を書く能力を育てる。(書く能力)</li> <li>○ 単元を貫く言語活動を設定し、教材の特質に応じた読み方を指導することを通して、目的に応じ、自分の考えを明確にして本や文章を読む能力を育てる。(読む能力)</li> <li>○ 各領域の指導や特定の事項を取り上げる指導を通して、伝統的な言語文化に親しませるとともに、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについての知識を身に付け、文字を正しく整えて書くことができるようにする。(言語についての知識・理解)</li> <li>◇ 言葉への関心を高めたり、伝統的な言語文化に親しんだりできるように、音読暗唱ブック「ひまわり」を活用して、継続的に音読や暗唱に取り組ませるようにする。</li> <li>◇ 日常的に読書に親しむことができるようにするために、単元のねらいに応じて学校図書館を計画的に利用し、必要な本や文章などを選ぶ指導を行う。また、学習・情報センターとして学校図書館を積極的に活用する。</li> <li>◇ 学校における教育課程の編成及び年間指導計画の作成に際しては、国語の能力を偏りなく養うために、北九州スタンダードカリキュラムを参考にする。</li> <li>◇ 各単元で重点的に育てる能力を明確にして、その力を効果的に身に付けるのに適した言語活動と教材の特質を十分に考慮し、単元を貫く(課題解決的な)言語活動を通して指導内容を確実に児童生徒の身に付けさせるようにする。</li> </ul>							
分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆書写展(内田・椎木)・県文集(宮田)・夏休みの作品募集(部員全員)</li> <li>・自由参加のコンクール紹介と募集(吉竹・松永・山田)・賞状作成(部員全員)</li> </ul>							
年間計画	1学期			2学期			3学期	
	4月	・年間計画立案 ・備品購入計画		9月	・県文集 ・読書感想文		1月	
	5月			10月			2月	
	6月			11月				
	7月	・毛筆書写展 ・夏休みの作品募集		12月			3月	・備品整理